

第1章

健康日本21 あいち計画の基本的な考え方

1 健康日本21あいち計画の趣旨

我が国は、生活環境の改善や医学の進歩により、世界有数の長寿国となる一方、人口の高齢化が急速に進み、介護を要する高齢者が増加しており、深刻な社会問題となっています【図1】。

この要介護状態になる原因として、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病等の生活習慣病が大きく関わっています。そこで、国民一人ひとりが生活習慣を改善し、健康づくりに努めることが求められるようになってきました。

このため、国は、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を築くため、平成12年3月に「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」を策定しました。また、平成12年11月に親と子が健やかに暮らせる社会づくりを目指す「健やか親子21」を策定しました。

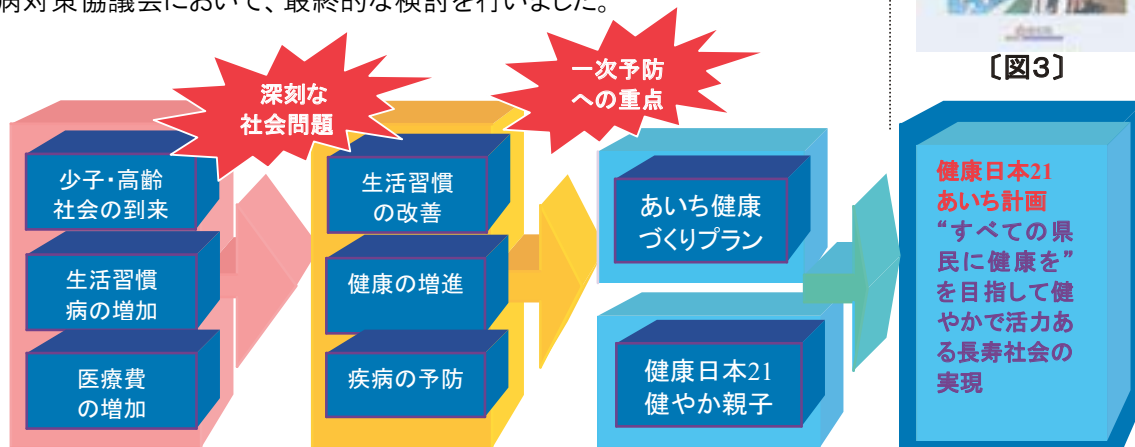
本県でも、平成10年6月、すべての県民が健やかで心豊かに生活できる活力ある長寿あいちの実現を目指して、「すべての県民に健康を～生涯を通じて、健康でいきいきと過ごす～」を目標とする「あいち健康づくりプラン」(以下「プラン」という。)[図2]を策定し、健康づくりの取組の基本的考え方を示しました。さらに、平成13年3月は、「プラン」の基本的考え方に基づいて、「健康日本21」と「健やか親子21」の理念を取り込み、県民や県、市町村、健康関連団体等が健康づくりに取り組むための行動計画として「健康日本21あいち計画」(以下「あいち計画」という。)[図3]を策定しました。「あいち計画」の策定に当たっては、医療・保健の関係者の協力を得ながら作業を進め、愛知県生活習慣病対策協議会において、最終的な検討を行いました。



【図2】



【図3】



【図1】「あいち計画」策定の背景

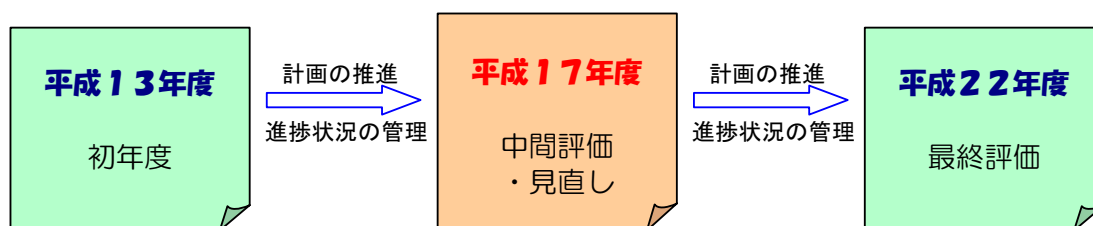
2 計画の性格

- 「あいち計画」は、改善すべき生活習慣の目標を具体的な数値で示すことにより、県民一人ひとりが健康を増進し、発病を予防する健康づくりに取り組むよう努めていただくものです。
- 「あいち計画」は、県民自らの取組だけでなく、行政や医療保険者、保健医療機関、教育関係機関、ボランティア団体等にも健康づくりに対する県民の取組への支援を求めるものです。
- 「あいち計画」は、健康増進法第8条第1項の規定(P144参照)による本県の健康増進計画です。

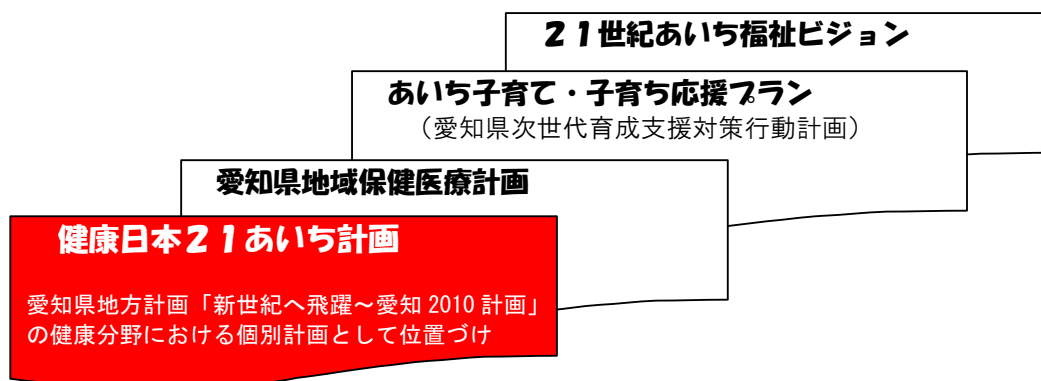
3 計画期間と評価

- 「あいち計画」の計画期間は、平成13年度を初年度として、平成22年(西暦2010年)度までの10年間です。
- 計画期間の中間年度である平成17年度に、計画の中間評価と見直しを行い、平成22年度に計画の最終評価を行います。

なお、現在、国において行われている医療制度改革の内容が「あいち計画」に影響を与えることも考えられますので、それらのことを勘案しながら、適宜、必要な対応を行ってまいります。



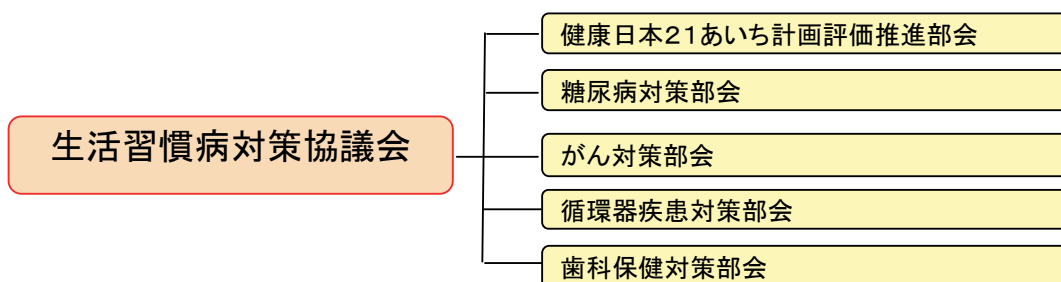
4 各種計画等との関連



【用語説明】

愛知県生活習慣病対策協議会

生活習慣病の一次予防として、生活習慣の見直し、改善を基本とした生活習慣病対策を総合的に推進するために、関係する課題の検討を行う協議会で、学識経験者、公衆衛生関係団体の者等で構成されている。



21世紀あいち福祉ビジョン

本格的な少子高齢社会を迎え、県民の増大・多様化する福祉ニーズに応えるとともに、時代の変化に対応し、将来に向かって安定した信頼できる「福祉社会」を構築することが求められています。このため、誰もが安心して生きがいをもち、生活できる地域社会を構築するべく、21世紀初頭の本県福祉の進むべき方向を明らかにしています。

この計画は、ビジョン部門及び実施計画で構成され、実施計画には、老人保健法第46条の19及び老人福祉法第20条の9に基づく「県老人保健福祉計画」、介護保険法第118条に基づく「県介護保険事業支援計画」、障害者基本法第7条の2に基づく「県障害者基本計画」、社会福祉法第108条に基づく「県地域福祉支援計画」並びに国が策定した「少子化対策推進基本方針」と「新エンゼルプラン」に呼応する「県児童育成計画」が含まれています。【計画期間は、平成13年度から平成22年度までの10年間】

愛知県地域保健医療計画

愛知県地域保健医療計画は、医療法に基づき策定した計画です。県民の皆様が、健康増進から疾病予防、治療、リハビリ、在宅ケアに至る一貫した保健医療サービスを、いつでも、どこでも、だれでも、適正に受けられる体制作りを目指すことを目的とした計画です。【この計画は、昭和62年に策定して以来、平成4・9・13・17年度と見直しをしています。】

あいち子育て・子育て応援プラン(愛知県次世代育成支援対策行動計画)

子育て家庭・子育て過程を社会全体で支える仕組みの構築をしていく計画です。具体的な取組としては、①次代の社会を担う子どもの健康の確保と福祉の充実 ②次代を見据えた教育の推進 ③安全で安心できる子育て環境の整備 ④着実な子育て支援のための連携の強化があります。【計画期間は、平成17年度から平成21年度までの5年間】

エアフィー

エアフィーとは、妖精を意味する英語の“fairy”を元にアルファベットを並べ替えて作った造語です。太陽や空気が当たり前前に存在しているように、健康であることが当たり前でありたいという願いを込め、太陽のように明るく、空気のように自然な存在として、県民の健康づくりを応援するイメージキャラクターです。

